



Fresenius Medical Care

2012年9月27日

独／フレゼニウス社は、100周年を迎えました。

独／フレゼニウス社は、フランクフルトの研究所から始まり、この100年間で、世界的なヘルスケアグループ企業へと成長しました。2012年10月1日に100周年記念行事を開催しましたが、その製品やサービスにより世界中の医療の質および生命予後の改善に貢献しています。

エドワード・フレゼニウス博士が1912年にフレゼニウスの基となる医薬品会社を創立して以来、彼の企業家精神や患者様の医療サービスの質や革新的技術への執念によりフレゼニウスグループの礎が築かれてきました。

フレゼニウス博士は、1912年10月1日に医薬品会社を始めました。これは1462年設立に遡るヒルシュ薬局を発展させ、注射剤やその他の製品により医薬品の製造を開始したもので、その後第二次世界大戦で壊滅的な打撃を受けたために、その復興を目指している最中、1946年にフレゼニウス博士は突然の死をとげ、彼の21才の養女エルス・フェルノウが後を引継ぎました。その後エルスはハンス・クローナーと結婚し、夫婦の協力の下にローカルな医薬品製造工場から国際的なヘルスケアグループへと発展させていきました。当社に転機が訪れたのは1966年で、透析関連の装置とダイアライザーの輸入販売を代理店として開始しました。1979年には透析装置の自社生産を開始しました。透析装置A2008は販売数で世界第1位となりました。その後1980年代初期には世界で初めてポリスルフォン膜をダイアライザーに適用し、生産を開始しました。

このように、フレゼニウス社は、経営基盤を構築していく一方、1996年には当社の歴史にとって大きな転換期となる、米国の大手透析センターのナショナルメディカルケア社を買収し、フレゼニウス メディカル ケア AG を設立しました。2011年には、北米で14万人以上の透析患者に治療を施し、米国のクリニックや透析センターで導入されている透析装置のうち85%以上がフレゼニウス社製であるという飛躍的な発展を遂げてきました。

1999年、Pharmacia & Upjohnの注入・注射薬の国際事業部門とフレゼニウス社の医薬品部門にてフレゼニウスカービを設立しました。1990年代中旬から、フレゼニウス社は、病院の統合などの医療施設の建築や経営等の事業を始め、2005年にHELIOS Kliniken社を買収し、ドイツで私立病院の経営企業のリーディングカンパニーの一つとなりました。

1990年には売上高は5億ユーロを超え、1990年代の終わりには、60億ユーロ以上へとめざましい発展を遂げました。フレゼニウス社は実質的には1990年代から着実な成長を遂げ、世界での存在を確実なものへと強化していきました。

2002～2011年の過去10年間での伸びは、売上高は2倍以上、営業利益は3倍以上、そして、純利益は5倍以上になりました。

2011年の売上高は約165億ユーロ(約1兆6千億円)、営業利益は約7.7億ユーロ、従業員数16万人以上であり、そしてその約半数はヨーロッパ地域、その1/3を北米が占めています。このように、フレゼニウス社は世界のリーディング・ヘルスケアカンパニーの一つへと成長しました。

この先、フレゼニウス社は、高質の医療を必要としていく発展途上国の需要が高まっていくこと、および、先進国では更に革新的な技術に対する需要が高まっていくこと、といった人口動態学的な変化から多くの利益を享受できる有利な位置にあります。これらの主要な2つのヘルスケアの需要傾向の変化により、フレゼニウス社の製品とサービスに対する需要は今後長期間にわたって更に高まっていくものと予想しております。

この100年の経験と一世紀にわたる人類の健康の向上に対する貢献から、フレゼニウス社は、高い質の包括的なヘルスケアを全世界の患者様へ提供する重要な任務を果たしていく所存です。

フレゼニウス メディカル ケア ジャパン株式会社